



今月号では、11月に開催された定例教育委員会の報告と、高島小学校の活動を紹介しています。

第11回定例会報告

11月20日開催

▼議事

- 平成18年度一般会計12月補正予算案について
 - ・肢体不自由児童対応の設備費、今津学校給食センターの修繕費、マキノ図書館の空調設備改修費のほか、事業完了による精算補正により、総額で411万7千円を減額補正提案することについて承認しました。
 - (委員からの意見)
 - ・障害のある子どもたちに必要な備品等については、他校で整備した備品を有効に活用してほしい。
 - ・19年度各事業については、

実施の方法を十分に検討して、必要と二つのない事業は廃止することも考えてほしい。

- 平成19年度教育委員会主要施策・事業概要について
 - ・教育委員会各課から41事業が提案され、これらの事業を主要施策・事業として調整協議することを承認しました。
 - (委員からの意見)
 - ・青少年教育について、高島市の青年たちが輝き夢をもってまちづくりに参画できるための教育的施策を検討してほしい。
 - ・大規模で広域的なスポーツイベントについては、事業実施することが、個々の市民のスポーツ振興につながるよう考慮してほしい。

▼報告

- 平成18年度児童生徒の食生活等実態調査概要について
 - ・体の調子、就寝起床、食事時間、家族関係と食事等10項目にわたる分析報告がありました。
 - (委員からの意見)
 - ・この調査を家庭生活や生活リズムの改善に生かしてほしい。
 - ・PTAの話し合いのテーマとして全学校で取り組んでほしい。

- 平成18年度高島市就学指導委員会判定結果について
 - ・知的障害、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害等のある児童生徒の処遇についての判定結果の報告がありました。
 - (委員からの意見)
 - ・校区ごとの判定基準が同一レベルになるよう当委員会委員に共通した人を配置するなどの対策を講じてほしい。

- 市内小・中学校の課題と対応について
 - ・学級運営や生徒指導上に問題が生じている等の現状と対応について報告を受けました。
 - (委員からの意見)
 - ・担任以外の教員もフォロー

アップするなど組織的な対応が大切。子どもを理解し、子どもと共感できるよう教員の努力も重要。学校はき然とした態度をとることが必要。どの子ども救われるよう対応してほしい。

- これからの高島市立図書館のあり方について(提言)
 - ・高島市立図書館協議会より、「合併後の市内6館の望ましい形について」・「学校、他施設、地域等の連携について」・「子どもの読書活動推進について」の具体的な提言を頂きました。

●その他の報告

- 第15回扇面の美展、嚶鳴(おうめい)フォーラムへの参加、平成19年高島市成人式、高島市指定文化財指定申請に伴う諮問、平成18年度池の沢遺跡発掘調査現地説明会、高島市健康の森梅ノ子運動公園の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例、高島市健康の森梅ノ子運動公園指定管理者候補者の選定について報告を受けました。



●「明日も来たくなる学校つくり」

これは、本校の学校教育推進のキャッチフレーズです。

本校では、平成17年度、18年度の2年間、文部科学省より研究指定を受け、人権教育の推進に取り組んでいます。



学校前の掲示板

具体的には、研究テーマを「一人ひとりの言葉を大切に聴き、互いに関わり合う子どもを求めて」とし、国語科を中心とした授業研究を核に、豊かな人間関係づくりをめざし研究を進めています。次に主な活動を紹介いたします。

●「読み語り活動」

月に一度、禅定正世先生にお越しいただき、詩語りを通して命の大切さや人としての生き方を学んでいます。子どもたちにとって、よい文学作品により多くふれることは、生きていく上で大きな糧となるに違いありません。



禅定先生を囲んで

このほか、人とのコミュニケーションを図る中で、特に大切となる言葉(国語力)を豊かにしていくために、朝の読書活動や月ごとの俳句募集、ボランティアによるブックトーク・図書館整備など、言語環境の改善に努めています。

●児童作品例

- ・新米を
いっぱい食べて カモチ
- ・歌声で
体育館が たからばし
- ・嵐かと
間違っほどの 木枯らし二号

●「全校集会活動」

毎月、集会委員会の主催で児童集会が開催されています。全校合唱、各委員会からの報告、学年発表などが行われ、体育館でもマイクを使わず、みんなに聞こえる声ではきはきとスピーチしたり、発表したりして頑張っています。これも、本校が求めている力「自分の考えや思いを、自信を持って伝える力(表現力)や、人の意見にしっかりと耳を傾ける力(聴く力)」を育成するための大切な活動です。



全校集会活動の様子

●「全校たてわり活動」

全校を32のたてわり班に分け、交流を図っています。現在、全校児童数が390人であり、普段は同学年同士との交流のみとなっています。異年齢との交



全校たてわり活動の様子

流は、相手の思いを察しながらの活動となり、思いやりやいたわりが大切であることに気づくよい機会となっています。また、5・5交流(五年生と保育園五歳児)なども行っています。

●モーニングズ マイタイム

毎週水曜日、一時間目が始まるまでの時間に、地域のボランティアの方から子どもたちに遊びや工作などを教えていただいています。子どもたちにとっては、異学年の子どもたちとのサークル的な場となり、たいへん楽しい交流の場となっています。

本校では、今後も人と人とのつながりを大切に、「他者を思いやり、認め合える豊かな人権感覚」を育て、どの子どもにとっても、「明日も来たくなる学校」となるよう、その実現に努めたいと考えています。

●教育委員会 Information
に対するご意見等は、高島市教育委員会事務局総務課(02-11-32)までお気軽にお寄せください。